

# 特別支援教育推進研究

## 1 はじめに

市では、令和3年3月に策定した「下野市特別支援教育推進計画（第二次）」の下、インクルーシブ教育システムの構築を目指している。障がいのあるなしに関わらず、できる限り同じ場で共に学び、一人一人が持てる力を最大限に発揮するためには、「合理的配慮」とその基盤となる「基礎的環境整備」への対応に加え、早期からの教育と医療・福祉等関係機関との連携体制の整備や学校での対応体制の整備が必要である。

そこで、本研究では、次の2つの内容について研究し、まとめることとした。

### ①サポートファイル「かけはし」の活用について紹介

※本研究会は年間4回開催のうち2回は特別支援ネットワーク連絡協議会を兼ねて開催し、社会福祉課で作成、配付しているサポートファイル「かけはし」の効果的な活用について協議した。

### ②学校や関係機関における教育相談・就学相談に生かすための他機関との連携の現状

## 2 研究内容

### ①サポートファイル「かけはし」の活用の紹介

機関名	「かけはし」の活用時期	活用のポイント
こばと園	こばと園を活用している保護者に配付・活用	・ 作ることより使うことを重視する。 ・ 各機関で、それぞれ保護者の思いに合わせて活用していく。 ・ 記入は保護者にとって負担となるため、任せきりにせず、機関の職員と一緒に活用する。 ・ 記入は、保護者が気になる場所、職員に伝えたいところだけでもよい。 ・ 保護者の活用意欲につなげることを大切にす る。
学校教育サポートセンター	年長児の就学相談、児童生徒の教育相談の際に活用	
学校	就学児、教育相談の際、個別の教育支援計画の作成時に活用	
進学先、労働先等	引き継いだ情報の活用	

### サポートファイル「かけはし」とは

障がいのある子どもたちの成長過程（幼児期、小学校1～3年生、小学校4～6年生、中学生、青年期）や支援内容を継続的に記録整理することで、地域生活においてよりよい支援が受けられることを目的として、対象となるご家庭に配付しているものです。

このファイルは、本人の健康・育ち・暮らし・特性などを記入しておき、医療機関や学校、福祉サービス事業所等、様々な関係機関の窓口で提示していただき、本人の正確な情報を支援者に伝えることで、ライフステージを通して一貫した支援を受けられるようにするためのものです。また、ファイルを上手に活用することで、保護者の方が相談窓口等で同じ説明を繰り返し行わなければならない状況の改善にもつながります。

社会福祉課、こばと園で配付しています。

（参考：下野市ホームページ）



サポートファイル「かけはし」

### サポートファイルの活用例

- ・ 面談のときに保護者と一緒にファイルの内容を確認しながら児童生徒の状況を把握する。
- ・ 「個別の教育支援計画」作成時に内容を参考にする。

### ②他機関との連携の紹介（次ページより）